2027年3月期　第2四半期（中間期）
決算説明会資料

株式会社オープンドア
（証券コード：3926）

ⓒ Open Door Inc.

目次

1. ハイライト
2. 日本人レジャー旅行市場の業界動向
3. 2027年3月期　2Q業績概要
4. 2027年3月期　2Qの取り組み
5. 2027年3月期　業績予想・今後の成長施策等
6. 参考資料

ⓒ Open Door Inc.

目次

1. ハイライト
2. 日本人レジャー旅行市場の業界動向
3. 2027年3月期　2Q業績概要
4. 2027年3月期　2Qの取り組み
5. 2027年3月期　業績予想・今後の成長施策等
6. 参考資料

ⓒ Open Door Inc.

ハイライト

■ 日本人レジャー旅行市場の業界動向

【レジャー旅行市場全体の動向】 *現時点で観光庁より公表されている2026年8月分までの数値を参照

- 海外レジャー旅行市場は、円安や燃油価格の高止まりによる旅行商品の高騰が続くも、前年をわずかに上回る水準で推移
- 国内レジャー旅行市場は、活発なインバウンド需要に起因する旅行商品の高騰がレジャー需要の伸び悩みにつながり、前年を下回って推移

【オンライン旅行市場の動向】

- 7月から9月におけるSimilarwebによる主要メタサーチ及び予約サイトの合計サイト訪問回数は、前期比98.3%と低調に推移

■ 2027年3月期 2Q実績

【会計期間(７月～９月)】

- 売上高　**740百万円**（前期比 **+9.8%**）
- 営業利益 **123百万円**（前期実績 **▲1百万円**）
- 日本人レジャー旅行全体において、円安やインバウンド需要に伴う旅行商品の高騰が響き、オンライン旅行市場は低調に推移したものの、成長施策、広告の最適化及び社内AI活用による業務効率化等により増収増益で着地

■ 2027年3月期 業績予想

- 日本人のレジャー旅行市場は現在、円安等のマクロ要因によるブレ幅が大きく、精度の高い予測が難しいため、現時点では2027年3月期の業績予想を「未定」とするが、AIによるシステム開発など、全社的な業務効率の向上と最適化を推し進め、事業成長とコスト削減の両立を図り、さらなる収益性の向上を目指す。

■ 今後の成長施策等

トラベルコは「2026年オリコン顧客満足度®ランキング ホテル比較サイト」における3年連続総合第1位獲得（*21ページ参照）など高い競争優位性を維持しており、SEM・SEO・AIO（AI検索最適化）を推進することで、さらなる需要獲得を目指す。
さらにAI開発などの積極導入により他分野も含めたターゲット市場の拡大を加速させる。

・新規メニュー：トラベルコにおいてクルーズ等の新メニューのリリースを予定
・AI事業　　：トラベルコにおけるAI検索の導入と企業向けAIサービスの提供を開始予定
・業務渡航　　：グループ会社ホテルスキップによる、業務渡航システムの旅行会社への導入を加速
・システム提供：既にリリース済の旅行会社向けフライト・ホテルオンライン予約システムの開発拡充と導入拡大
・工芸関連事業：人間国宝を含む工芸作家の作品を中心に販売している日本最大級の「GALLERY JAPAN」に加え、日常に使える工芸品情報を発信してきた「KOGEI JAPAN」において越境を含むECマーケットプレイス事業を開始予定

ⓒ Open Door Inc.

目次

1. ハイライト
2. 日本人レジャー旅行市場の業界動向
3. 2027年3月期　2Q業績概要
4. 2027年3月期　2Qの取り組み
5. 2027年3月期　業績予想・今後の成長施策等
6. 参考資料

ⓒ Open Door Inc.

日本人レジャー旅行市場の業界動向

■ レジャー旅行市場全体の動向（観光庁データ） *1

- 海外レジャー旅行市場は、円安や燃油価格の高止まりによる旅行商品の高騰が続くも、前年をわずかに上回る水準で推移
- 国内レジャー旅行市場は、活発なインバウンド需要に起因する旅行商品の高騰がレジャー需要の伸び悩みにつながり、前年を下回って推移

■ オンライン旅行市場の動向（Similarwebデータ） *2,3

- 7月から9月におけるSimilarwebによる主要メタサーチ及び予約サイトの合計サイト訪問回数は、前期比98.3%と低調に推移

*1　観光庁が発表する「主要旅行業者の旅行取扱状況速報」（2026年8月分まで）のうち、レジャー旅行市場の需要と連動率の高い「募集型企画旅行」の取扱額を参照

*2　出典：Similarweb（2026年7-9月）。サイト訪問回数は、Similarwebにおける「セッション数」（ユーザーによる一連のサイト訪問）の指標を使用

*3　集計対象：主要メタサーチ・予約サイト計25社。対象サイトの総合計セッション数 754,451,357回

ⓒ Open Door Inc.

目次

1. ハイライト
2. 日本人レジャー旅行市場の業界動向
3. 2027年3月期　2Q業績概要
4. 2027年3月期　2Qの取り組み
5. 2027年3月期　業績予想・今後の成長施策等
6. 参考資料

ⓒ Open Door Inc.

2027年3月期 2Q 業績概要（会計期間）

- 日本人レジャー旅行全体において、円安やインバウンド需要に伴う旅行商品の高騰が響き、オンライン旅行市場は低調に推移したものの、成長施策、広告の最適化及び社内AI活用による業務効率化等により増収増益で着地

単位：百万円

	2026/3 2Q実績（前期）	2027/3 2Q実績（当期）	増減額	2026/3 2Q比
売上高	674	740	+66	+9.8%
売上原価	232	192	-39	-16.9%
売上総利益	442	547	+105	+23.8%
販売費及び一般管理費	444	424	-20	-4.6%
営業利益	-1	123	+125	-
経常利益	1	125	+124	-
当期純利益	-20	100	+121	-
営業利益率	-	16.7%	-	-

ⓒ Open Door Inc.

2027年3月期 2Q 業績概要（累計期間）

- 日本人レジャー旅行全体において、円安やインバウンド需要に伴う旅行商品の高騰が響き、オンライン旅行市場は低調に推移したものの、成長施策、広告の最適化及び社内AI活用による業務効率化等により増収増益で着地

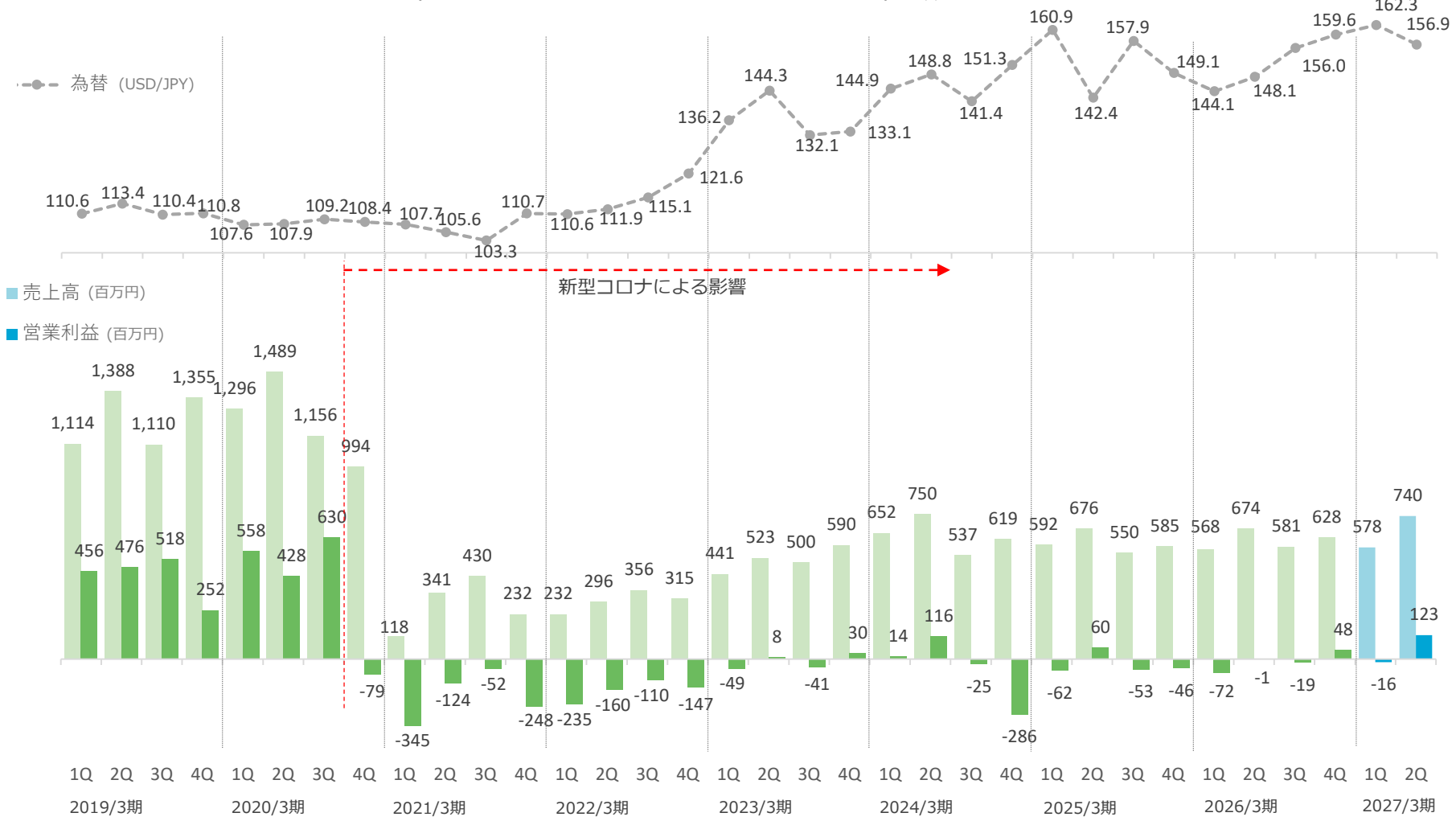
単位：百万円

	2026/3 2Q(累) 実績 (前期)	2027/3 2Q(累) 実績 (当期)	増減額	2026/3 2Q(累)比
売上高	1,243	1,319	+76	+6.1%
売上原価	485	390	-95	-19.6%
売上総利益	757	928	+171	+22.6%
販売費及び一般管理費	831	821	-9	-1.2%
営業利益	-74	107	+181	-
経常利益	-71	109	+181	-
当期純利益	-109	71	+180	-
営業利益率	-	8.1%	-	-

ⓒ Open Door Inc.

2027年3月期 2Q 業績概要 / 四半期業績推移

- 日本人レジャー旅行全体において、円安やインバウンド需要に伴う旅行商品の高騰が響き、オンライン旅行市場は低調に推移したものの、成長施策、広告の最適化及び社内AI活用による業務効率化等により増収増益で着地



出典：日本銀行「時系列統計データ検索サイト」をもとに当社作成

ⓒ Open Door Inc.

目次

1. ハイライト
2. 日本人レジャー旅行市場の業界動向
3. 2027年3月期　2Q業績概要
4. 2027年3月期　2Qの取り組み
5. 2027年3月期　業績予想・今後の成長施策等
6. 参考資料

ⓒ Open Door Inc.

2027年3月期　2Qの取り組み

2Qは23件の開発案件をリリース、更に43件以上の案件が進行中

最近のリリース一例

リニューアル

(海外航空券＋ホテル)
・一覧でフライト情報を含むプランの詳細を表示





クーポン割引表示

・クーポン適用後の価格で比較可能に
(新幹線＋ホテル)JR東日本びゅうダイナミックレールパック
(海外航空券)エイチ・アイ・エス　等





新規連携

・(海外ツアー)スカイチケット



ⓒ Open Door Inc.

目次

1. ハイライト
2. 日本人レジャー旅行市場の業界動向
3. 2027年3月期　2Q業績概要
4. 2027年3月期　2Qの取り組み
5. 2027年3月期　業績予想・今後の成長施策等
6. 参考資料

ⓒ Open Door Inc.

2027年3月期 業績予想・今後の成長施策等

【業績予想】

日本人のレジャー旅行市場は現在、円安等のマクロ要因によるブレ幅が大きく、精度の高い予測が難しいため、現時点では2027年3月期の業績予想を「未定」とするが、AIによるシステム開発など、全社的な業務効率の向上と最適化を推し進め、事業成長とコスト削減の両立を図り、さらなる収益性の向上を目指す。

【今後の成長施策等】

トラベルコは「2026年オリコン顧客満足度®ランキング ホテル比較サイト」における3年連続総合第1位獲得（*21ページ参照）など高い競争優位性を維持しており、SEM・SEO・AIO（AI検索最適化）を推進することで、さらなる需要獲得を目指す。
さらにAI開発などの積極導入により他分野も含めたターゲット市場の拡大を加速させる。

- **トラベルコ新メニュー**
  トラベルコにおいてクルーズ等の新メニューのリリースを予定
- **AI事業**
  トラベルコにおけるAI検索の導入と企業向けAIサービスの提供を開始予定
- **業務渡航**
  グループ会社ホテルスキップによる、業務渡航システムの旅行会社への導入を加速
- **旅行会社向けオンライン予約システム**
  既にリリース済の旅行会社向けフライト・ホテルオンライン予約システムの開発拡充と導入拡大
- **伝統的工芸品の越境を含めたECマーケットプレイス**
  人間国宝を含む工芸作家の作品を中心に販売している日本最大級の「GALLERY JAPAN」に加え、日常に使える工芸品情報を発信してきた「KOGEI JAPAN」において越境を含むECマーケットプレイス事業を開始予定

ⓒ Open Door Inc.

2027年3月期 業績予想・今後の成長施策等

【トラベルコ新メニュー】

・旅行比較サイト「トラベルコ」においてクルーズ等の新メニューのリリースを予定

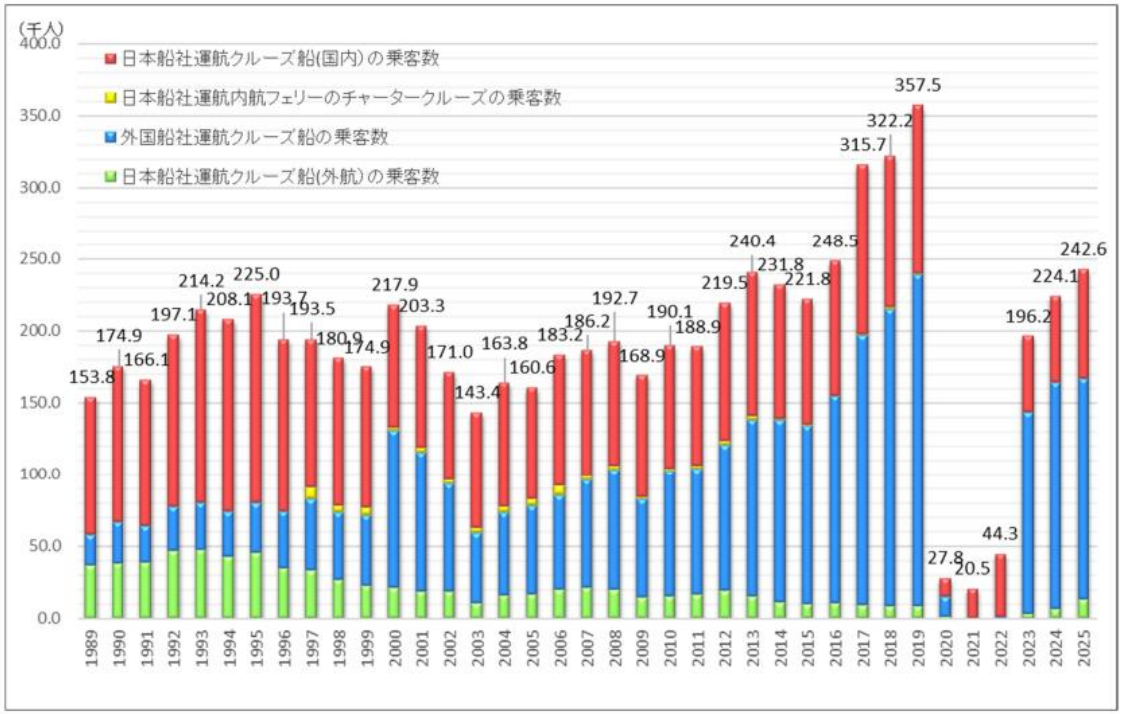
・コロナ禍を経て需要回復が進むクルーズ市場に対し、その成長機会の獲得に注力

・その他需要に応じて比較サービスのメニュー拡大（eSIM・民泊・アウトドア・日帰りレジャーなど）



※イメージ

●外航・国内クルーズを利用する日本人乗客数の推移表



出典：国土交通省「2025年の我が国のクルーズ等の動向」

ⓒ Open Door Inc.

2027年3月期 業績予想・今後の成長施策等

【AI事業】

・自社サイトおよびLLM向け自然言語でのAI検索システムの構築

・AI分野の開発を加速し、AI検索、AI FAQ、AIO、その他AIサービスのノウハウを他社向けにも提供

(AI検索のイメージ)

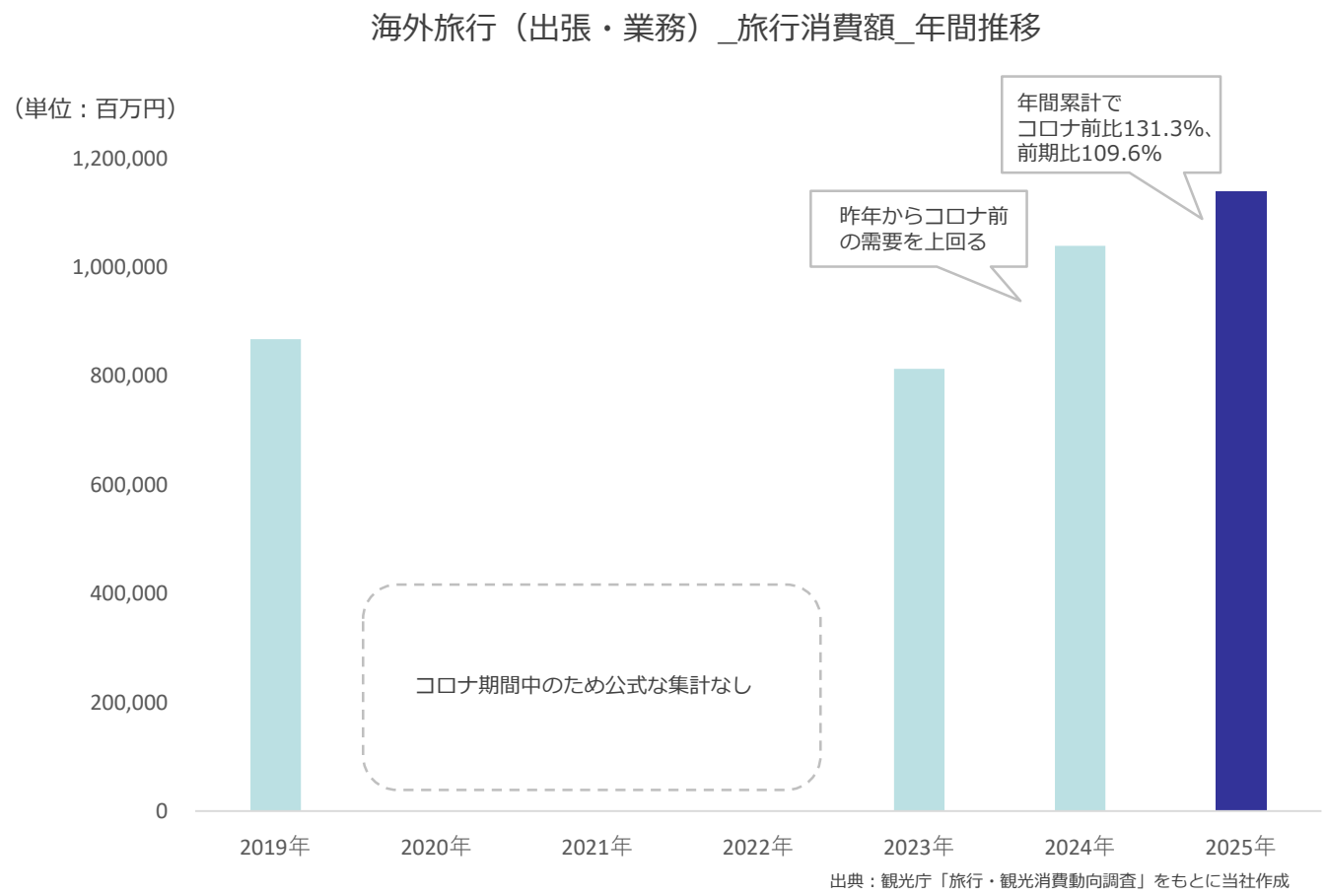


ⓒ Open Door Inc.

2027年3月期 業績予想・今後の成長施策等

【業務渡航】

・グループ会社ホテルスキップにおける業務渡航事業は市場の顕著な回復に比例して順調に伸びており、業務渡航システムの旅行会社への導入をさらに加速



ⓒ Open Door Inc.

2027年3月期 業績予想・今後の成長施策等

【旅行会社向けオンライン予約システム】

・既にリリース済の旅行会社向けフライト・ホテルオンライン予約システムの開発拡充と導入拡大（複数社導入済）

（導入イメージ）





ⓒ Open Door Inc.

2027年3月期 業績予想・今後の成長施策等

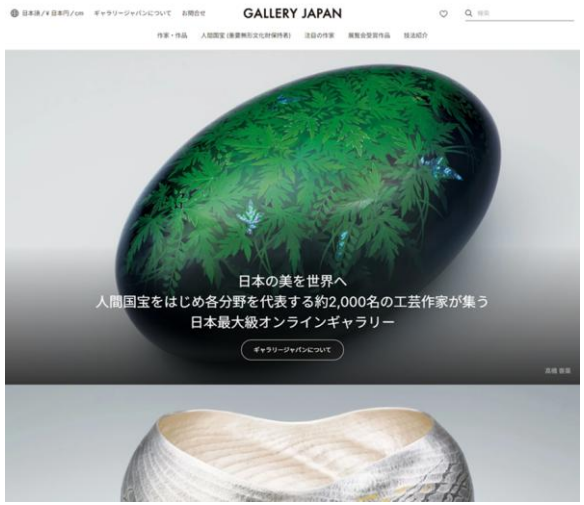
【伝統的工芸品の越境を含めたECマーケットプレイスの構築】

GALLERY JAPAN：
　人間国宝を含む約2,000名の現役作家による美術工芸作品を販売する日本及び世界最大級のオンラインギャラリー

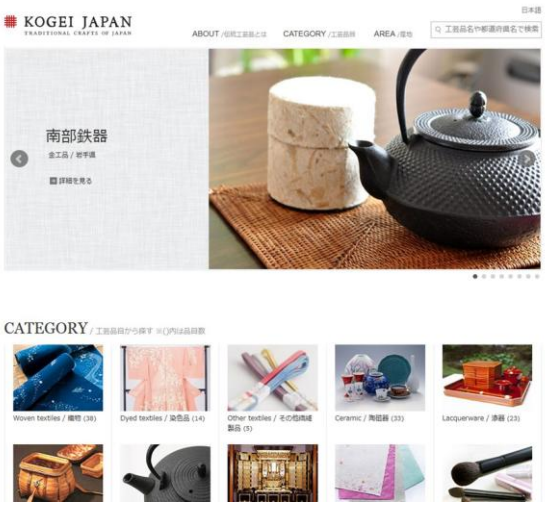
KOGEI JAPAN：
　日常使いができる工芸品情報（全244品目）を網羅的に発信する日本最大級の伝統的工芸品情報サイト
　※現在、販売は行っていない

日本伝統工芸の海外市場における関心は高まっており、美術工芸作品を扱うGALLERY JAPANでは海外需要の伸びが顕著で既に海外への販売が国内を上回っている。このような状況を鑑み、KOGEI JAPANにおいて、より市場規模の大きい日常工芸品市場をターゲットとして、越境を含めたECマーケットプレイス事業を開始

GALLERY JAPAN



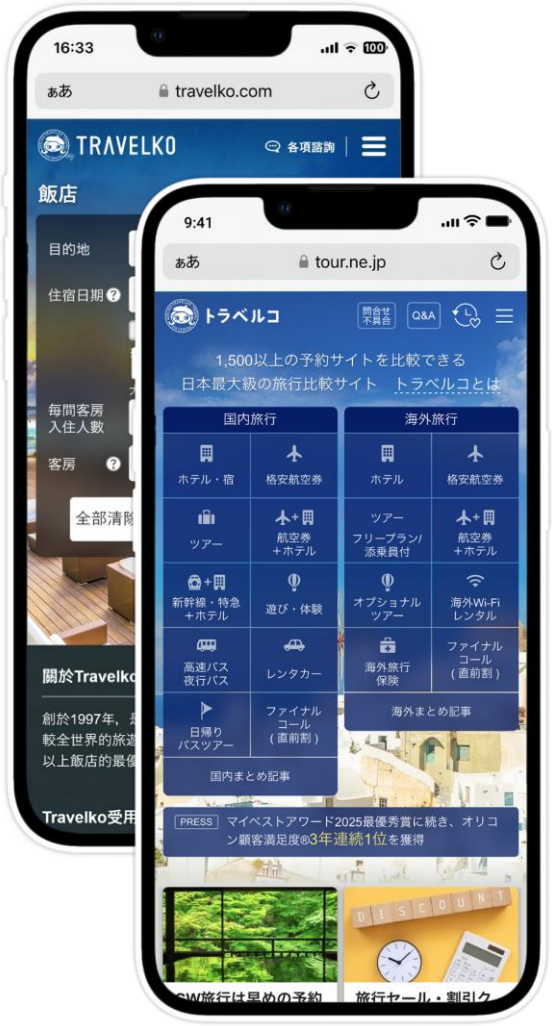
KOGEI JAPAN



ⓒ Open Door Inc.

2027年3月期 業績予想・今後の成長施策等

【その他】



トラベルコ

- SEM、SEO、AIOの強化
- 既存メニューのリニューアル及び機能強化
- 新規連携強化による商品情報の拡充
- 国内及び海外の人気スポットなどの観光情報拡大
- 各メニューのクチコミ・評価サービス拡充
- サイトデザインリニューアル

TRAVELKO

- 現地大手サイトとの連携強化による価格優位性の確立
- ユーザーインターフェースローカライゼーション強化
- アプリ版TRAVELKOの機能拡充
- 観光情報の拡充
- SEM、SEO、AIOの強化

ⓒ Open Door Inc.

目次

1. ハイライト
2. 日本人レジャー旅行市場の業界動向
3. 2027年3月期　2Q業績概要
4. 2027年3月期　2Qの取り組み
5. 2027年3月期　業績予想・今後の成長施策等
6. 参考資料

ⓒ Open Door Inc.

2026年 オリコン顧客満足度®調査「ホテル比較サイト」ランキングにおいて、3年連続となる総合1位を獲得

2026年3月2日に発表された、2026年 オリコン顧客満足度®調査「ホテル比較サイト」ランキングにおいて、旅行比較サイト「トラベルコ」が3年連続となる総合1位を獲得。さらに、「サイト・アプリの使いやすさ」「検索のしやすさ」「検索結果の充実さ」「比較のしやすさ」を評価した項目別ランキングにおいても、全項目で3年連続1位を獲得。



2026年 オリコン顧客満足度®調査 ホテル比較サイト 第1位

■本調査詳細
2026年 オリコン顧客満足度®調査
ホテル比較サイトランキング
https://life.oricon.co.jp/rank-bargain-hotels-website/

■オリコン顧客満足度®ランキングとは
オリコングループは、2006年に実際のサービス利用者のみを対象とした顧客満足度（CS）調査事業を開始。さまざまな業界・サービスのCSデータをランキング形式で提供。オリコンの調査は、特定の企業や個人からの委託ではなく、公正な第三者の視点のもと、オリコンが独自に企画・実施。
https://cs.oricon.co.jp/

ⓒ Open Door Inc.

2027年3月期 2Q / 貸借対照表

- 自己資本比率80.7%で高い水準を維持
- 現預金残高は2,289百万円

単位：百万円	2026/3末 実績	2026/9末 実績	増減額
流動資産	2,748	2,999	+250
現金及び預金	2,141	2,289	+147
その他	606	709	+102
固定資産	1,316	1,193	-122
資産合計	4,065	4,192	+127
流動負債	544	745	+201
固定負債	42	42	-
負債合計	587	788	+201
純資産合計	3,477	3,404	-73
資本金	648	648	-
資本剰余金	473	473	-
利益剰余金	2,354	2,425	+71
その他	1	-142	-144
負債純資産合計	4,065	4,192	+127

ⓒ Open Door Inc.

2027年3月期 2Q / 売上原価・販売費及び一般管理費の主な内訳

- 開発投資の内製化を進めたことに伴い、外注費（売上原価）が83百万円減少
- 広告宣伝費は増加したものの、社内AI活用による業務効率化等により販売費及び一般管理費全体では9百万円減少

単位：百万円	2026/3 2Q(累) 実績	売上比	2027/3 2Q(累) 実績	増減額	前期比	売上比
売上原価	485	39.1%	390	-95	-19.6%	29.6%
労務費	287	23.1%	287	+0	+0.3%	21.8%
その他	198	16.0%	102	-96	-48.4%	7.8%
販売費及び一般管理費	831	66.9%	821	-9	-1.2%	62.3%
人件費	385	31.0%	342	-42	-11.1%	26.0%
広告宣伝費	256	20.6%	304	+48	+18.9%	23.1%
その他	189	15.3%	174	-15	-8.2%	13.2%

ⓒ Open Door Inc.

2027年3月期 2Q / キャッシュ・フロー計算書

- 現金及び現金同等物の９月末残高は2,284百万円

単位：百万円	2026/3 2Q(累) 実績	2027/3 2Q(累) 実績	
営業活動によるキャッシュ・フロー	-114	+166	税金等調整前中間純利益　111百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	-23	-18	―
財務活動によるキャッシュ・フロー	―	-0	―
現金及び現金同等物の増減額	-138	+147	―
現金及び現金同等物の期首残高	2,207	2,136	―
現金及び現金同等物の期末残高	2,069	2,284	―

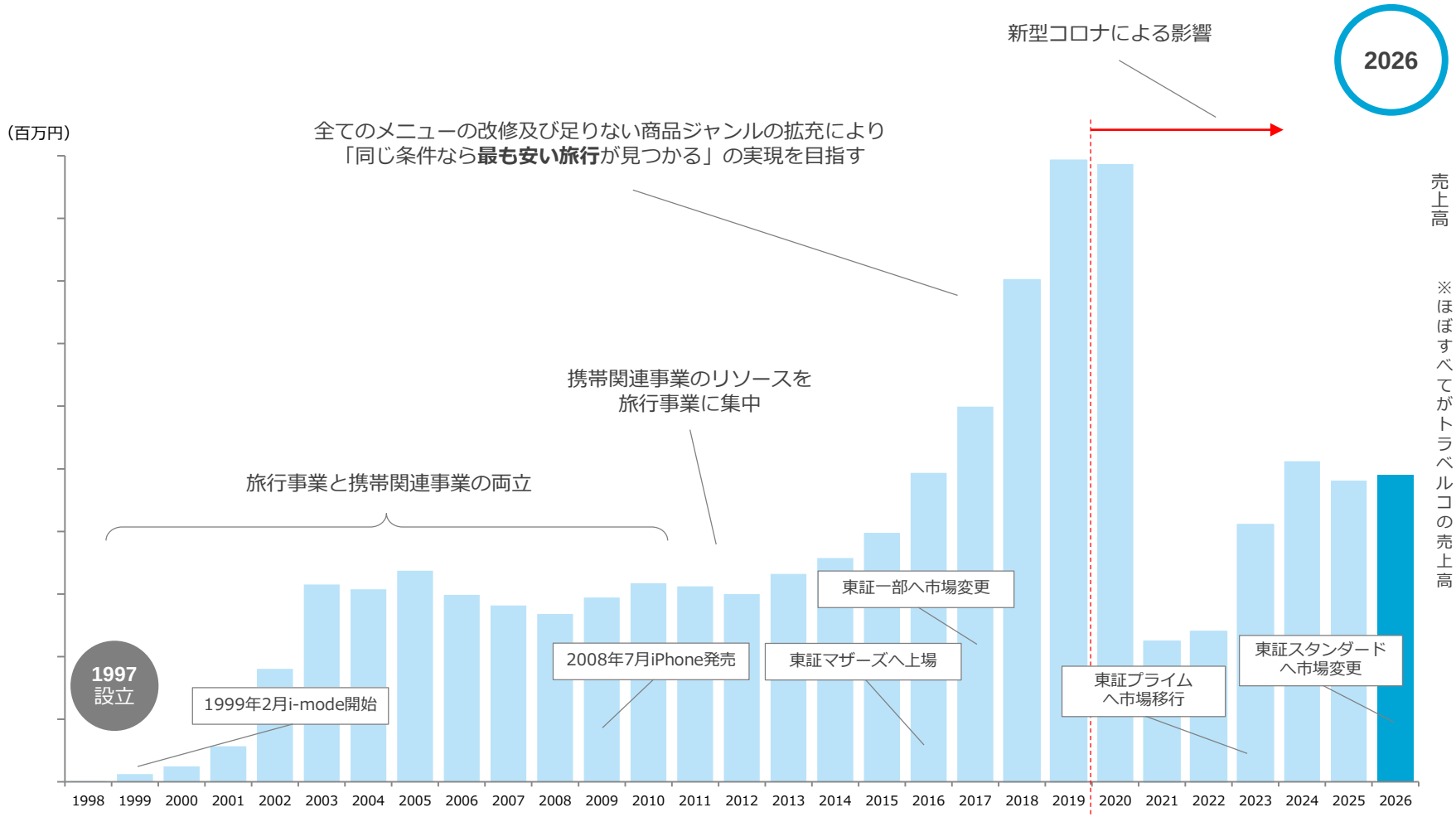
ⓒ Open Door Inc.

会社概要（2026年9月末時点）

会社名	株式会社オープンドア
設立	1997年4月
代表者	代表取締役社長　関根　大介
資本金	648百万円
上場取引所	東京証券取引所 スタンダード市場（証券コード：3926）
事業内容	旅行比較サイト「トラベルコ」 多言語旅行比較サイト「Travelko」 伝統工芸品紹介サイト「GALLERY JAPAN」「KOGEI JAPAN」の運営
連結子会社	ホテルスキップ株式会社　出資比率100% ホテル・航空券の予約、手配、販売
従業員数	連結184名

ⓒ Open Door Inc.

これまでの歩みと売上高の推移



ⓒ Open Door Inc.

当社サービス / 旅行比較サイト「トラベルコ」

・1,500以上の旅行サイトの商品を比較・検索できる日本最大級の旅行比較サイト
・2026年オリコン顧客満足度®調査「ホテル比較サイト」で3年連続で1位を獲得

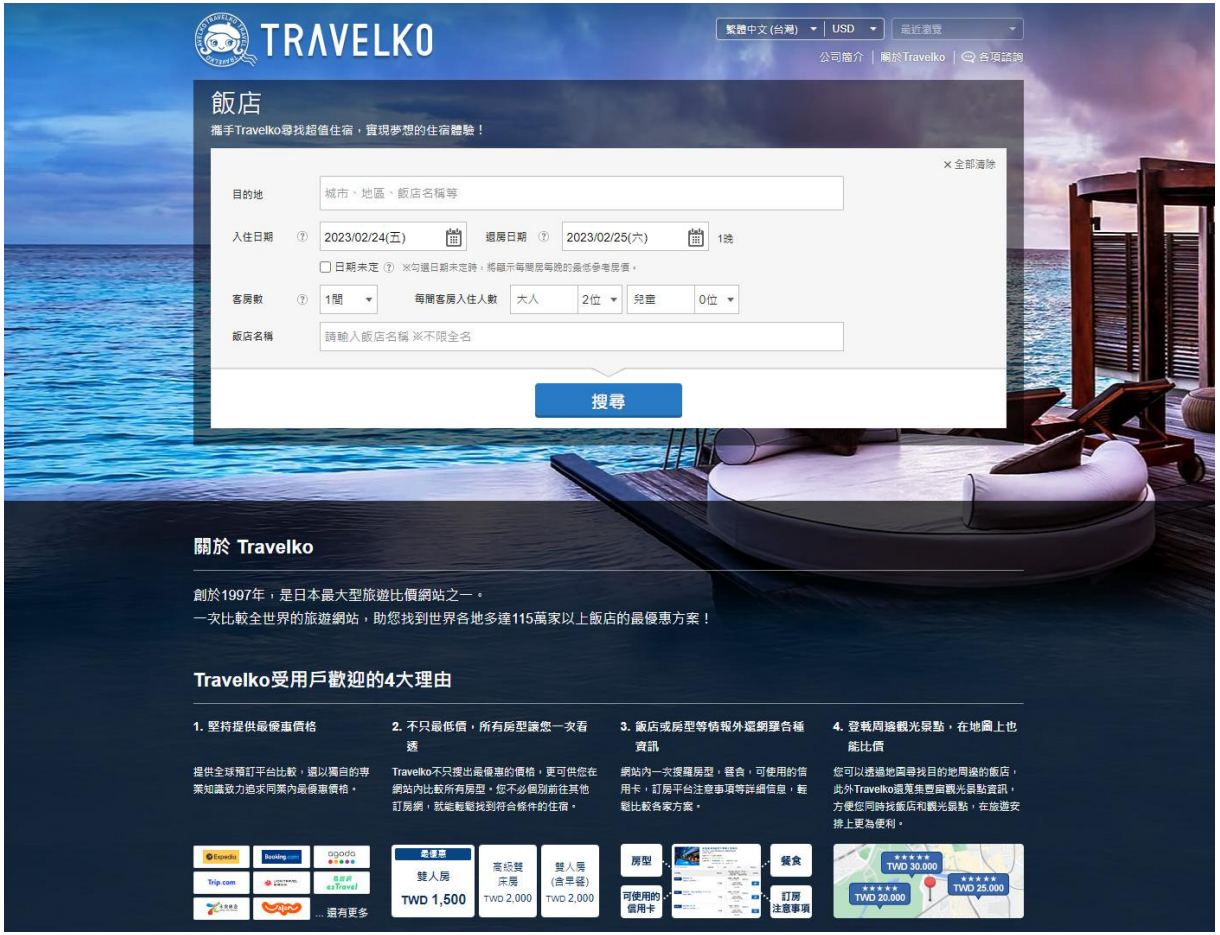




ⓒ Open Door Inc.

当社サービス / 多言語旅行比較サイト「TRAVELKO」

・海外及びインバウンド市場をターゲットとした海外版トラベルコ





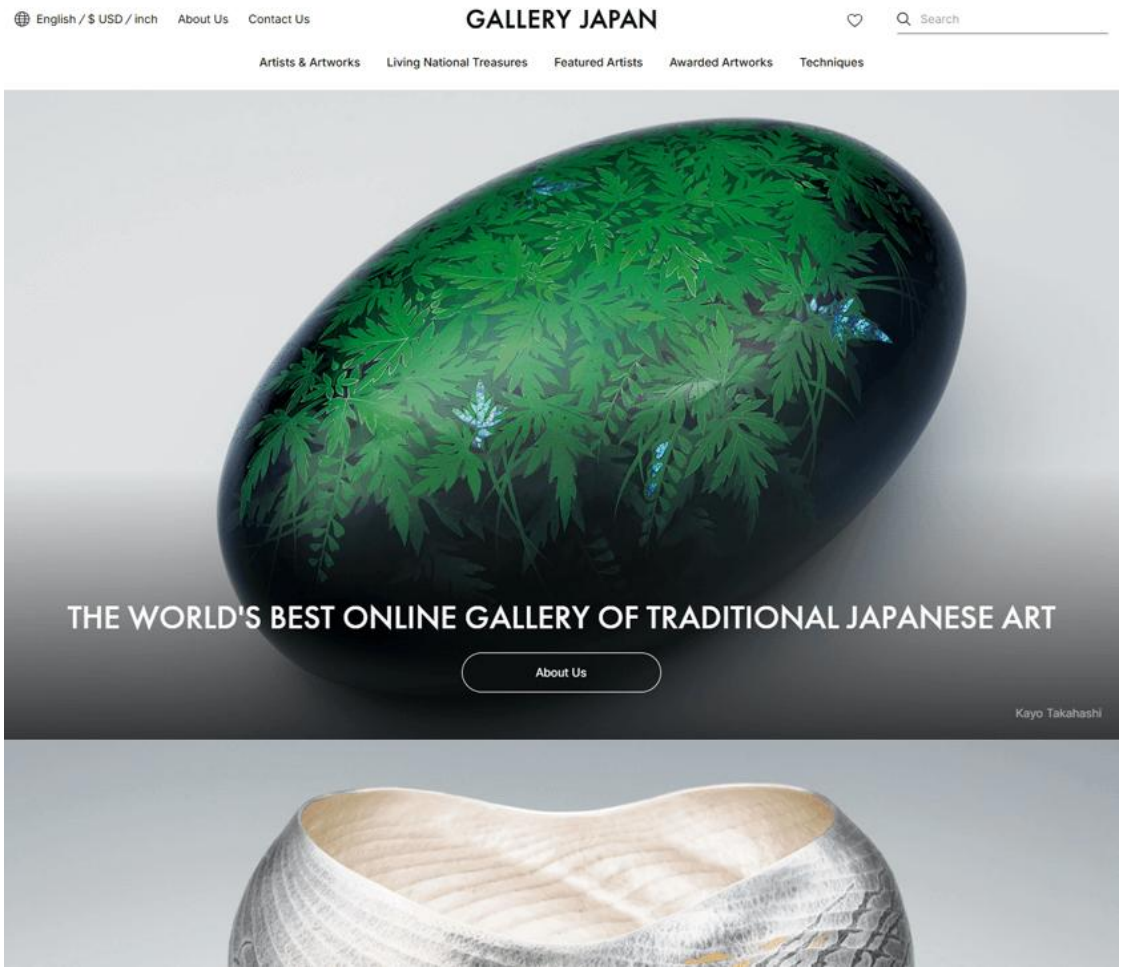
対応言語

英語
中国簡体字
繁体字（台湾）
繁体字（香港）
韓国語

ⓒ Open Door Inc.

当社サービス / GALLERY JAPAN

・人間国宝を含む約2,000名の現役作家による美術工芸作品を販売する日本及び世界最大級のオンラインギャラリー





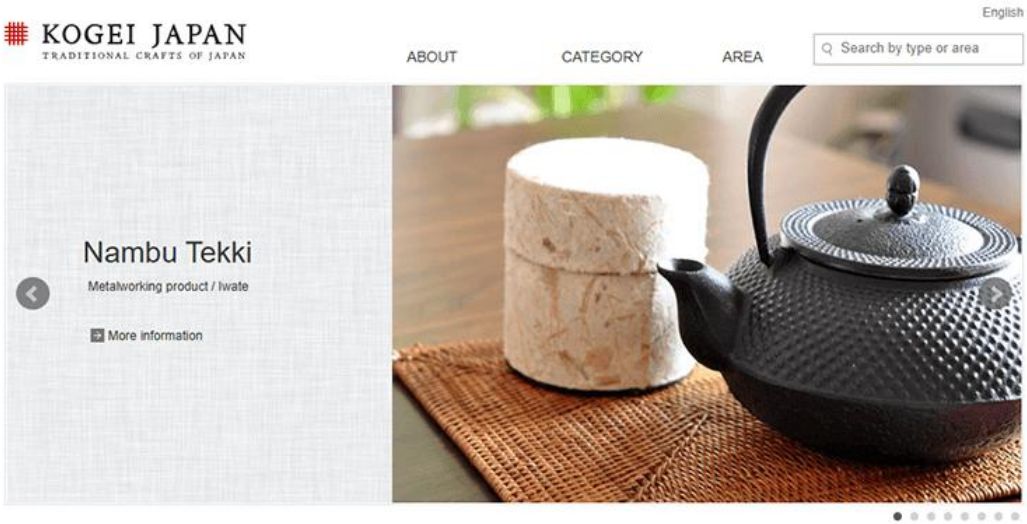
対応言語

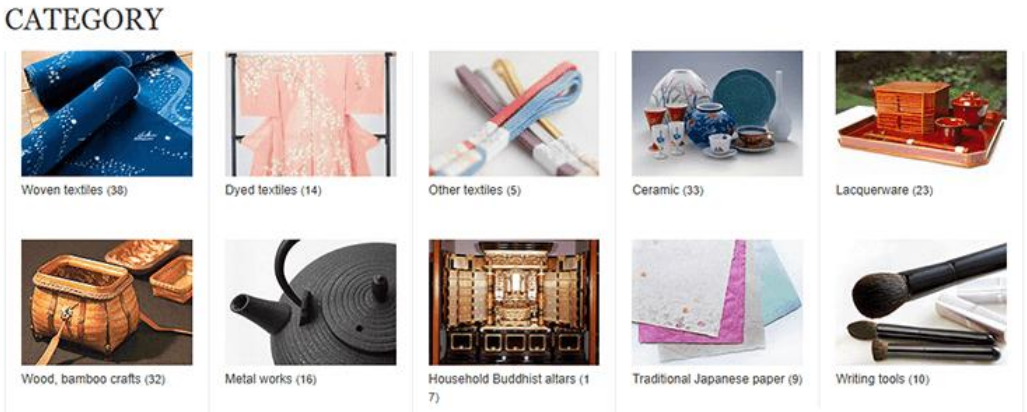
英語
日本語

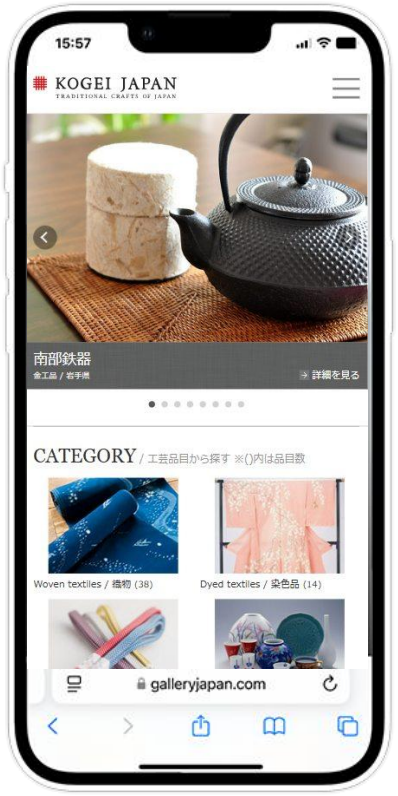
ⓒ Open Door Inc.

当社サービス / KOGEI JAPAN

・日常使いができる工芸品情報（全244品目）を網羅的に発信する日本最大級の伝統的工芸品情報サイト
・今後、越境を含めたECマーケットプレイス事業を開始予定







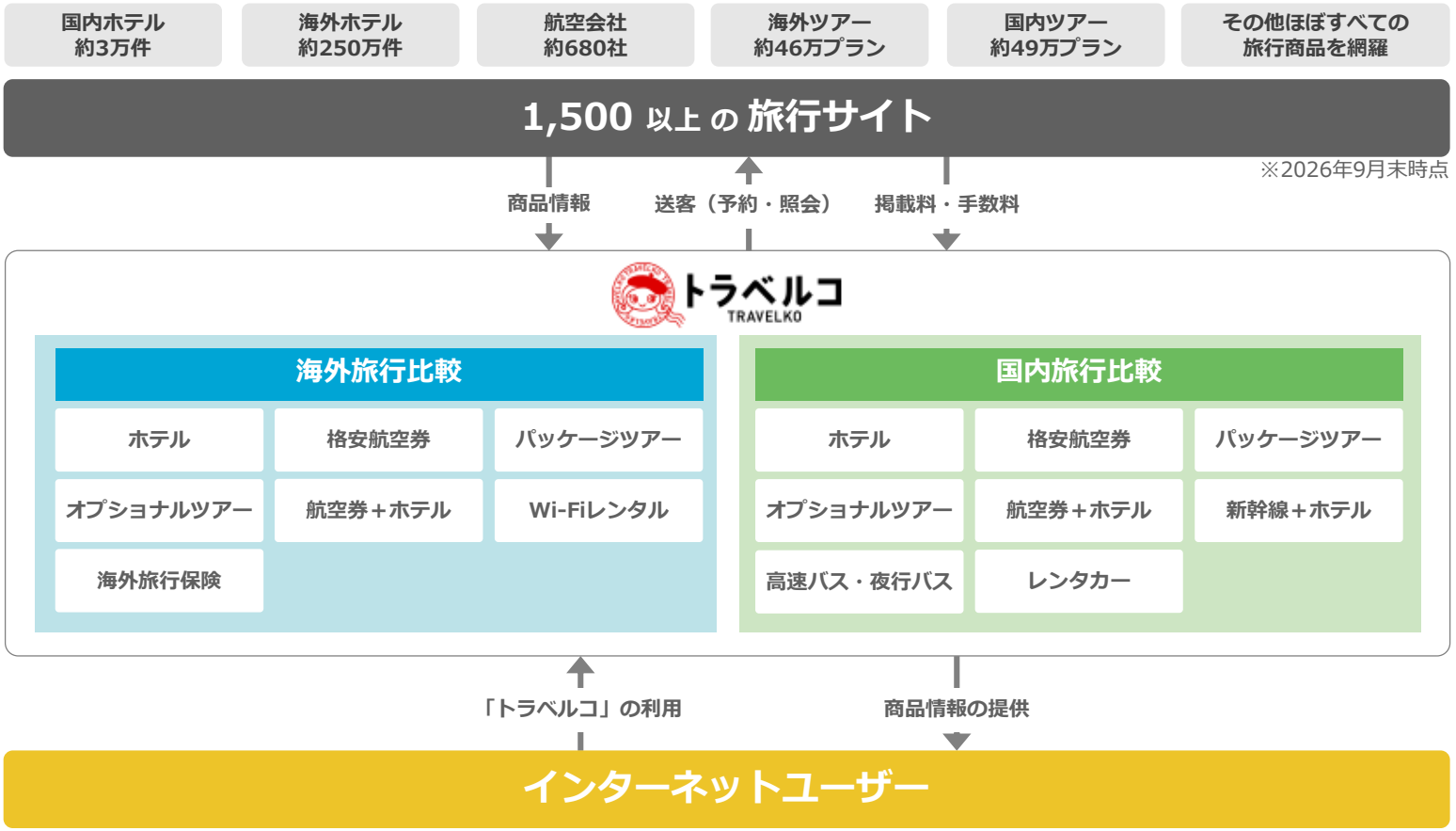
対応言語

英語
日本語

ⓒ Open Door Inc.

トラベルコ / ビジネスモデル

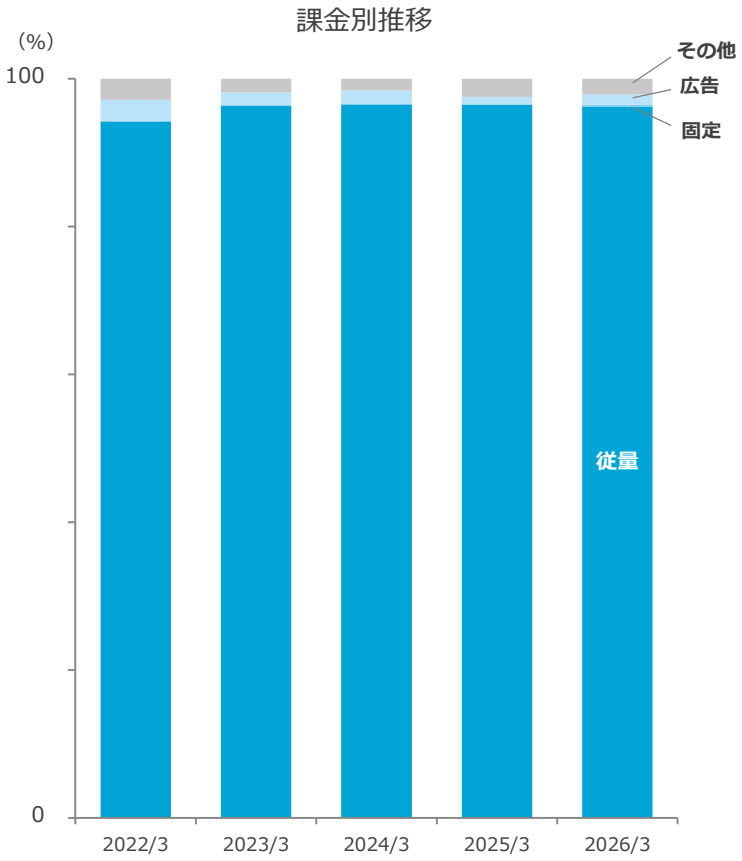
ほぼすべての旅行商品を比較できるビジネスモデル



ⓒ Open Door Inc.

トラベルコ / 収益モデル

収益モデルは成果報酬型の従量課金収入がメイン



従量課金収入
（成果報酬型）
「トラベルコ」経由で旅行商品を購入した場合等の成果に応じた手数料

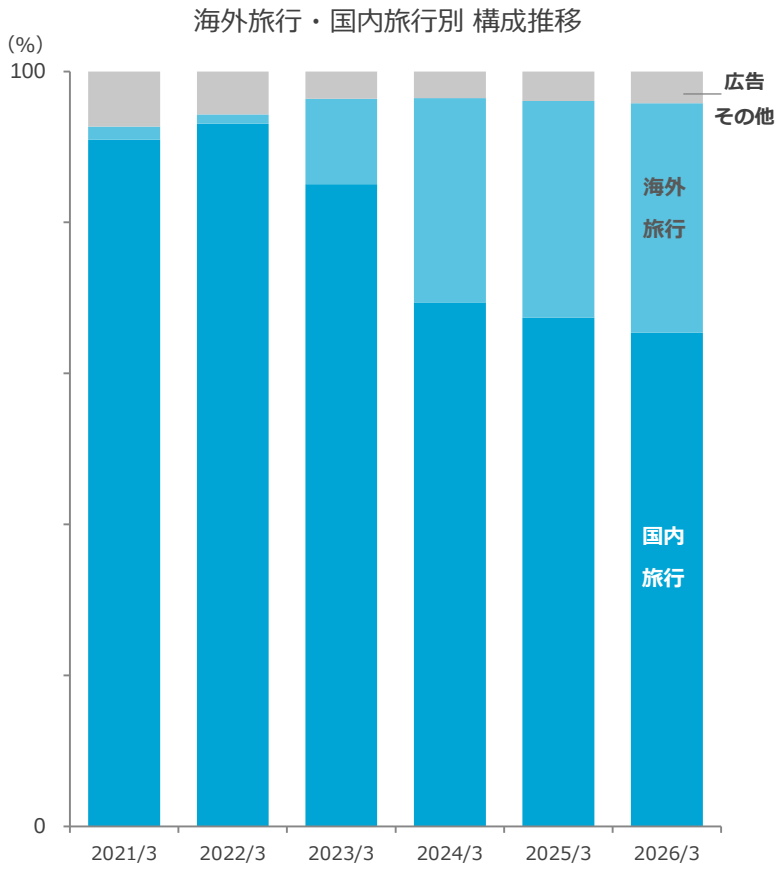
固定課金収入
（月額固定型）
「トラベルコ」への旅行商品の掲載において登録可能コース数に応じた掲載料

広告収入
「トラベルコ」広告スペースへの掲載料

ⓒ Open Door Inc.

トラベルコ / 海外旅行・国内旅行別売上高構成

新型コロナの影響により国内旅行がほとんどを占めていたが、海外旅行が徐々に回復



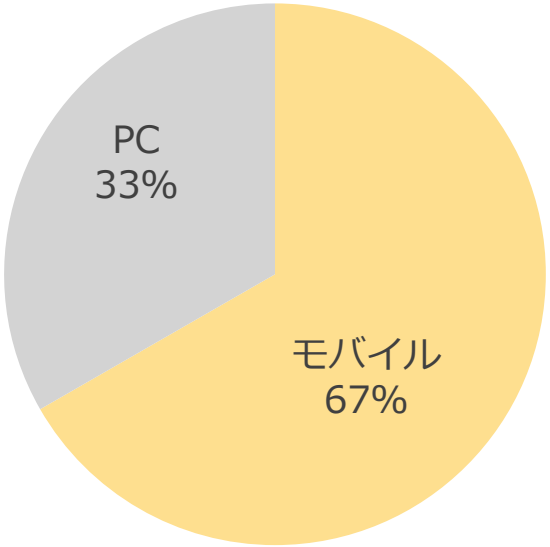
ⓒ Open Door Inc.

トラベルコ / ユーザー属性

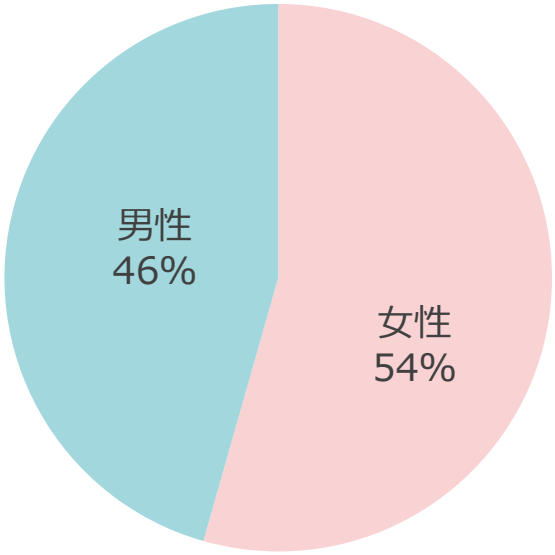
新型コロナの期間を経て、男性ユーザーが増加、加えて45歳以上及び18歳から24歳の年齢層を中心に増加

ユーザー属性※1

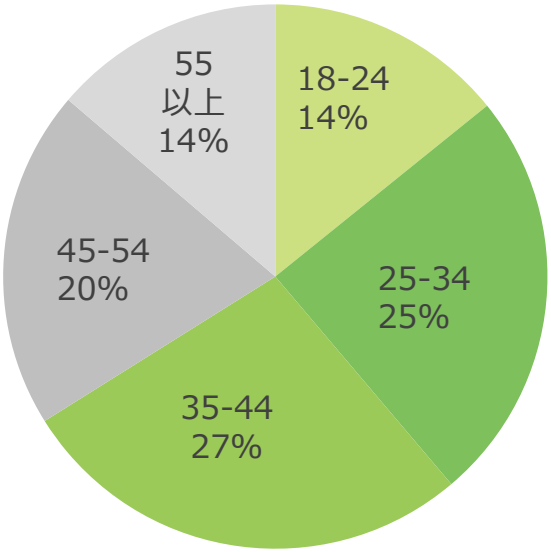
閲覧環境



性別



年齢別



※1 2025/10－2026/9までの当社アクセス解析データ

ⓒ Open Door Inc.

トラベルコの強み・特徴サマリー①

多くの比較サイトがある中で、なぜトラベルコはこれだけ幅広いユーザーから支持を得、高い成長を維持できているのか？

1．ほぼ全ての旅行ジャンルをカバー

多くの他社がホテルだけ、航空券だけなどジャンルを絞った比較をしている中で、トラベルコは国内・海外ほぼ全ての旅行ジャンルをカバーしています。
ホテル、航空券、パッケージツアー、ダイナミックパッケージ、オプショナルツアー、レンタカー、高速バス、海外Wi-Fiレンタル、海外旅行保険など。

これによりユーザーは自分の旅行をトラベルコのサイト内でワンストップで探せます。



2．最も安いプラン・チケットが見つかる

比較できる旅行サイト数が1,500以上にものぼるトラベルコは、もちろん比較できるプラン数も日本最大級です。なので、同じ条件で最安値が見つかる確率は自然と高くなります。
それに加え、旅行サイト側も全ての比較サイトに同一の価格でプランを掲載しているわけではありません。より価格競争が厳しいサイトには、より安く価格を設定する場合が多いのです。

なので、旅行サイト数が圧倒的に多く、競争率が高いトラベルコではさらに最安値が見つかりやすくなるのです。

JTB　クラブツーリズム　JALパック
JR東海ツアーズ　近畿日本ツーリスト　日本旅行
HIS　東武トップツアーズ　阪急交通社　ANA X
読売旅行　名鉄観光サービス　ベルトラ

楽天トラベル　るるぶトラベル　Yahooトラベル

Expedia　Booking.com　Agoda　Trip.com
Traveloka

エアトリ　Spring Japan　スカイチケット
スターフライヤー

…1,500以上の旅行サイト

ⓒ Open Door Inc.

トラベルコの強み・特徴サマリー②

なぜトラベルコはそのような強みを実現できているのか？

ほぼ全てのシステム開発を内製化

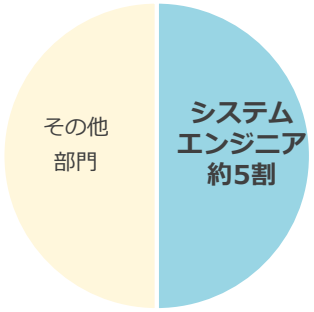
これだけ多くの旅行ジャンルをカバーし、1,500以上の旅行サイトと連携し、またそれら全てを並行して進化させていくためには、膨大かつ高度なシステムの開発が必要となります。

多くの他社は開発を外注しており、その場合、どうしても外注先のリソース、スキル、スケジュール、優先順位に左右され、自分たちの思い通りの開発はなかなか困難です。

当社は、ほぼ全てのシステムを内製で開発しており、約90名のシステムエンジニアが日々情報を共有しながら、市場トレンドに合わせ柔軟かつ効率的な開発環境を敷いています。これによりスピード感をもって、かつ高いクオリティを維持しながら並行して全ての進化を支える開発体制が実現できています。

この非常に高い開発能力も、当社の強みを実現できている大きな理由のひとつです。

全従業員に占める
システムエンジニアの割合



ⓒ Open Door Inc.

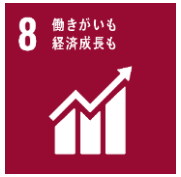
SDGsに向けた取り組み

SDGs（持続可能な開発目標）に向けた当社の取り組みは下記の通りです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



女性活躍推進
- 女性管理職比率目標15%以上
- くるみんマーク取得
- 時差出勤等の各種制度の導入



働きがいのある職場の実現
- 多様性の確保
- 社員の健康支援



イノベーションの推進



地域と伝統文化への貢献
- 旅行を通じた地域社会の活性化
- 伝統文化への取り組み



オフィスでの環境配慮
- CO2排出量の削減
- 電力資源の削減
- 紙資源の削減



自然環境の保全と共生による持続可能な観光の推進



コーポレート・ガバナンス



企業や地方自治体などとのパートナーシップ推進

ⓒ Open Door Inc.

ESGへの取り組み

ESGに関する当社の取り組みは下記の通りです。



Environment（環境）

・環境に配慮した旅行商品の提案（低CO2排出量のフライト）
・CO2排出量の削減（再生可能エネルギー電力の導入）
・電力資源の削減（LEDライトの利用）
・紙資源の削減（FSC認証用紙の利用）
・プラスチック資源の削減（社員によるマグカップの利用）
・自然環境保護への支援

Social（社会）

・多様な人材の活躍
・女性活躍推進
・従業員の健康支援
・内部通報窓口の設置
・児童労働、強制労働の廃除

Governance（ガバナンス）

・透明性のある経営の実現
・コンプライアンスの強化
・取締役会の機能強化
・ステークホルダーとの対話

ⓒ Open Door Inc.

本資料の取り扱いについて

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

ⓒ Open Door Inc.

株式会社オープンドア

本資料ならびにIR関係のお問い合わせにつきましては、
下記までお願いいたします。

株式会社オープンドア　管理本部
TEL：03-5545-7215　　FAX：03-3586-8708
ホームページ：https://www.opendoor.co.jp

ⓒ Open Door Inc.